

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成23年10月20日(2011.10.20)

【公開番号】特開2011-78699(P2011-78699A)

【公開日】平成23年4月21日(2011.4.21)

【年通号数】公開・登録公報2011-016

【出願番号】特願2009-235470(P2009-235470)

【国際特許分類】

A 47 J 43/28 (2006.01)

【F I】

A 47 J 43/28

【手続補正書】

【提出日】平成23年9月5日(2011.9.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

周壁部と底部を有する第1容器と、水切り穴と周壁部と底部を有し、かつ前記第1容器の内側に配置可能な第2容器とを備え、前記第1容器と前記第2容器は前記第1容器内に前記第2容器を挿入した第1状態と、該第1状態に対して周方向の相対角度をずらした状態で、かつ前記第2容器の底部と前記第1容器の底部との距離が前記第1状態よりも上方に離れた第2状態にでき、該第2状態において前記第2容器を保持できる保持部が設けられており、前記第1容器及び第2容器は周壁部の上端部が外方に張出すフランジ部を備え、該フランジ部に、前記第1容器と前記第2容器のフランジ部のフランジ面同士を当接させたときに位置決めするための位置決め部が設けられていることを特徴とする水切り具。

【請求項2】

前記第2容器の水切り穴は、前記第2容器の前記底部にのみ設けられていることを特徴とする請求項1記載の水切り具。

【請求項3】

前記第1容器と前記第2容器は、水切り穴の有無を除き同形であることを特徴とする請求項1又は2記載の水切り具。

【請求項4】

前記第1容器及び前記第2容器は、角丸の四角形であることを特徴とする請求項1乃至3のいずれか一項に記載の水切り具。

【請求項5】

前記第2容器は前記第2状態において、第1容器に対して周方向に30°~60°の範囲でずらした状態で保持可能になっていることを特徴とする請求項4記載の水切り具。